

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

報告事項件名	頁
(1) 足立区バリアフリー地区別計画（綾瀬・北綾瀬周辺地区）素案に関するパブリックコメントの実施について	2
(2) 公園樹木維持管理指針改定案（取り組み方針編）の作成について	3
(3) 第3回足立区緑の基本計画推進会議の開催結果について	4
(4) 公園施設の指定管理者業務評価結果について	9
(5) 足立区立公園条例施行規則の一部改正について	25
(6) 竜井堀親水水路に関する工事説明会の開催結果について	29
(7) 足立区関原の森関連施設の指定管理者業務評価結果について	30

(都市建設部)

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	足立区バリアフリー地区別計画（綾瀬・北綾瀬周辺地区）素案に関するパブリックコメントの実施について															
所管部課名	都市建設部都市建設課 ユニバーサルデザイン担当課															
内容	<p>綾瀬・北綾瀬周辺地区のバリアフリー地区別計画素案に関するパブリックコメントの実施について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 パブリックコメントの実施</p> <p>(1) 募集期間 令和5年11月22日（水）～令和5年12月22日（金）</p> <p>(2) 周知方法及び閲覧配布 ア あだち広報10月25日号、区ホームページ及びSNSによる周知 イ 都市建設課、区民事務所、中央図書館、区政情報課、政策経営課にて資料を閲覧、配布する。</p> <p>2 地区別計画素案の概要</p> <p>(1) 地区別計画の概要 バリアフリー地区別計画の位置づけ、地区別計画の内容、地区別計画策定後の進め方</p> <p>(2) バリアフリー地区別計画の策定について 地区別計画の策定にいたる経緯</p> <p>(3) 地区のバリアフリーの取り組み 地区のバリアフリーの現状と課題、基本的な方針、生活関連施設・生活関連経路・区域の設定</p> <p>3 今後の予定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">年 月</th> <th style="width: 75%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>令和5年 11月</td> <td>バリアフリー地区別計画素案を公表 パブリックコメントの募集（31日間）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和6年 1月頃</td> <td>上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月頃</td> <td>第20回足立区バリアフリー協議会 パブリックコメントに対する区の考え方を公表</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月頃</td> <td>バリアフリー地区別計画（綾瀬・北綾瀬周辺地区）策定</td> </tr> </tbody> </table>		年 月	内 容		令和5年 11月	バリアフリー地区別計画素案を公表 パブリックコメントの募集（31日間）		令和6年 1月頃	上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告		2月頃	第20回足立区バリアフリー協議会 パブリックコメントに対する区の考え方を公表		3月頃	バリアフリー地区別計画（綾瀬・北綾瀬周辺地区）策定
	年 月	内 容														
	令和5年 11月	バリアフリー地区別計画素案を公表 パブリックコメントの募集（31日間）														
	令和6年 1月頃	上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告														
	2月頃	第20回足立区バリアフリー協議会 パブリックコメントに対する区の考え方を公表														
	3月頃	バリアフリー地区別計画（綾瀬・北綾瀬周辺地区）策定														

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	公園樹木維持管理指針改定案（取り組み方針編）の作成について																		
所管部課名	道路公園整備室西部道路公園維持課 東部道路公園維持課																		
内容	<p>パブリックコメントを実施する公園樹木維持管理指針改定案（取り組み方針編）（別添資料参照）を作成したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 検討経過</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年5月</td> <td>第1回検討委員会（指針改定の考え方について検討）</td> </tr> <tr> <td>令和5年8月</td> <td>第2回検討委員会（指針改定案の内容について検討）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 公園樹木維持管理指針改定版の構成</p> <p>(1) 取り組み方針編【パブリックコメントを実施】 樹木を中心とする公園の緑の現状や課題を整理し、足立区が目指す公園の緑とその実現に向けた取り組みの方向性を示す。</p> <p>(2) 実務編 公園樹木に関連する業務に携わる職員や委託業者等が共通認識を持って維持管理を行えるよう、取り組み方針編で示す取り組みの方向性に沿って、具体的な手法を示す。</p> <p>3 パブリックコメントを実施する取り組み方針編の概要</p> <p>(1) 足立区の公園の緑の現状と課題 (2) 公園樹木維持管理改定指針の目的と対象 (3) 足立区が目指す公園の緑</p> <p>4 パブリックコメント募集期間 令和5年10月2日（月）～令和5年11月1日（水）</p> <p>5 今後の予定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年10月</td> <td>公園樹木維持管理指針改定案（取り組み方針編）を公表し、パブリックコメントを募集（31日間）</td> </tr> <tr> <td>令和6年1月</td> <td>上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告</td> </tr> <tr> <td>令和6年2月</td> <td>パブリックコメントに対する区の考え方を公表</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月</td> <td>公園樹木維持管理指針改定版の策定</td> </tr> <tr> <td>令和6年4月</td> <td>職員と委託業者へ周知するための説明会を開催</td> </tr> </tbody> </table>	年 月	内 容	令和5年5月	第1回検討委員会（指針改定の考え方について検討）	令和5年8月	第2回検討委員会（指針改定案の内容について検討）	年 月	内 容	令和5年10月	公園樹木維持管理指針改定案（取り組み方針編）を公表し、パブリックコメントを募集（31日間）	令和6年1月	上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告	令和6年2月	パブリックコメントに対する区の考え方を公表	令和6年3月	公園樹木維持管理指針改定版の策定	令和6年4月	職員と委託業者へ周知するための説明会を開催
年 月	内 容																		
令和5年5月	第1回検討委員会（指針改定の考え方について検討）																		
令和5年8月	第2回検討委員会（指針改定案の内容について検討）																		
年 月	内 容																		
令和5年10月	公園樹木維持管理指針改定案（取り組み方針編）を公表し、パブリックコメントを募集（31日間）																		
令和6年1月	上記意見に対する区の考え方を建設委員会へ報告																		
令和6年2月	パブリックコメントに対する区の考え方を公表																		
令和6年3月	公園樹木維持管理指針改定版の策定																		
令和6年4月	職員と委託業者へ周知するための説明会を開催																		

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	第3回足立区緑の基本計画推進会議の開催結果について
所管部課名	道路公園整備室パークイノベーション推進課
内容	<p>足立区緑の基本計画推進会議を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 開催目的 第三次足立区緑の基本計画をP D C Aサイクルによりチェックし、今後の事業に反映させるため。</p> <p>2 開催概要</p> <p>(1) 日時 令和5年7月25日(火) 午後2時～午後4時</p> <p>(2) 場所 足立区役所南館4階作業室</p> <p>(3) 出欠席 出席14名、欠席0名</p> <p>(4) 会議構成 東京農業大学グリーンアカデミー校長 足立区議会議員(3名) 足立区民(足立区緑の基本計画改定審議会元委員3名) 足立区の保存樹・樹林を守る会会長 足立区農業委員会会長 江北村の歴史を伝える会前会長 子育てパパサークルあだっちパパ代表 足立区肢体不自由児者父母の会会長 (公財)足立区体育協会副会長 国土交通省国土技術政策総合研究所主任研究官</p> <p>3 足立区緑の基本計画の進行状況</p> <p>(1) ひとつづくりの指標 別紙1(P7参照)のとおり</p> <p>(2) まちづくりの指標 別紙2(P8参照)のとおり</p>

4 足立区緑の基本計画推進会議での主な意見と区の対応

No.	意見	区の対応
1	緑を育むひとづくりの取組みでは、緑の協力員の任期後の活動の場がないことが課題である。	<p>① 任期満了後も活動できるように、現在の緑の協力員及び任期を終えた方々を交えて意見交換や検討を行う。</p> <p>② 令和6年度末までに活動支援を含めた仕組みを構築していく。</p>
2	緑化活動の場を知らない区民が多いのではないかと。情報発信に力を入れて、広く周知してほしい。	<p>① 情報発信については、全庁で強化に取り組んでおり、現在はイベント・講座の案内や実施結果、グリーンカーテンの生育や開花の情報等を区ホームページ等で紹介している。</p> <p>② 今後は、電子媒体や紙媒体を活用し、初心者が気軽に緑や草花に親しむ方法（人気講座のクリスマスリース作りや押し花作りを自宅で楽しむ）等の情報も充実させていく。</p>
3	「歩きたくなる」ルートに関連した『街路樹維持管理指針』の策定は評価できる。暑さ対策となる木陰や休憩するベンチ等の環境整備を進めてほしい。	<p>① 今年度から『街路樹維持管理指針』に基づき、「歩きたくなる」ルートも含め、街路樹が抱える課題を解決するための手法等の試行と検証を進める。</p> <p>② 維持管理担当部署と連携し、傷んだベンチの更新や増設等により改善を図る。</p>
4	パークイノベーションの取組みでは、公園にバリアフリートイレを増やしてほしい。	<p>① バリアフリー地区別計画等に合わせ、公園トイレの更新時にバリアフリートイレの整備を行っている。</p>
5	目標未達成の緑化助成件数について、書類の煩雑さが課題とあるが、令和元年以降に申請書類の簡略化はされたか。	<p>① 令和元年度～4年度は、申請書類の見直しをしていない。</p> <p>② 令和6年度からの簡略化を目指し、今年度は住宅メーカー等へのヒアリング、それをふまえた申請方法の検討、要綱改正に取り組む。</p>

5 今後の方針

- (1) 今回の意見・助言をふまえ、庁内外の関係機関と連携しながら、令和5年度以降の各事業に取り組んでいく。
- (2) 令和6年度に第三次足立区緑の基本計画の中間検証を実施する。

ひとづくり

令和4年度の実績

第3回足立区緑の基本計画
推進会議 配布資料より施策
(活動)

施策	活動指標	計画策定時	実績 R4年度	中間目標 R6年度	最終目標 R11年度
施策 1	緑を育むひとを増やす 緑化活動に参加したいと思う区民の割合 (世論調査)	17.6% (R1年度)	21.8%	19.1%	20.6%
施策 2	緑を育むひとの活動を 広げ、つなぐ みどり豊かな景観形成に取り組む区民・ 団体数	1,163 団体:720 個人:443 (R2年度)	1,238 団体:781 個人:457	1,312 団体:767 個人:545	1,467 団体:820 個人:647

計画目標
(成果)

緑を育むために自ら行動し、活動するひとを増やす

成果指標	計画策定時 R1年度	実績 R4年度	中間目標 R6年度	最終目標 R11年度
緑化活動に参加した区民の割合 (世論調査)	15.9%	18.0%	17.4%	18.9%

目標と実績の基準日は、各年度の3月31日とする。

まちづくり

令和4年度の実績

第3回足立区緑の基本計画
推進会議 配布資料より施策
(活動)

施策		活動指標	計画策定時	実績 R4年度	中間目標 R6年度	最終目標 R11年度
施策Ⅰ-1	骨格となる水と緑の確保と充実	「水と緑の魅力向上ポイント」における評価	2.16 (R3.3) ※	2.77	3.0	4.0
施策Ⅰ-2	「歩きたくなる」水と緑のネットワークの構築	「歩きたくなる」ルートの総延長距離	64,660m (R3.3) ※	67,120m	67,600m	69,990m
施策Ⅱ-1	民有地の緑の充実	優良緑化件数 (令和3年度からの累計)	0件 (R3.3) ※	0件	20件	70件
		緑化助成件数 (令和2年度からの累計)	14件 (R1)	29件	100件	200件
施策Ⅱ-2	樹林地・農地の保全と活用	保存樹林指定件数	25箇所 (R2.3)	29箇所	30箇所	35箇所
		特定生産緑地面積	9.87ha (R1)	20.50ha	<u>21.8ha</u> ★	<u>23.9ha</u> ★
施策Ⅱ-3	公園の魅力向上と持続可能な管理	公園率	6.1% (R2)	6.14%	6.2%	6.3%
		「行きたい公園がある」人の割合 (世論調査)	46%(R1)	51.2%	<u>51.5%</u> ★	<u>53.5%</u> ★
施策Ⅱ-4	公共施設の効果的な緑化と保全	公共施設の優良緑化件数 (令和3年度からの累計)	0件 (R3.3) ※	0件	2件	7件

計画目標
(成果)

魅力のある緑を実感できるまちづくりの推進

成果指標	計画策定時	実績 R4年度	中間目標 R6年度	最終目標 R11年度
まちなかの花や緑が多いと感じる区民の割合 (世論調査)	27.8% (R1) ●	60.9%	<u>64.4%</u> ★	<u>66.9%</u> ★
景観・街並みが良好であると感じる区民の割合 (世論調査)	44.7% (R1)	53.4%	<u>53.8%</u> ★	55.0%
樹木被覆地率 (約5年おき確認)	9.4% (H29)	-	9.8%	10.2%

目標と実績の基準日は、各年度の3月31日とする。

※印は、第1回緑の基本計画推進会議(令和3年3月)の報告時の数値を記載している。

★印の目標値は、令和4年度に上方修正している。

●印は、「まちなかの花や緑が増えた」と感じる区民の割合。令和3年度に世論調査の設問が変更された。

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	公園施設の指定管理者業務評価結果について
所管部課名	道路公園整備室パークイノベーション推進課
内容	<p>公園施設（3施設）指定管理者の令和4年度業務について、足立区公園施設指定管理者選定等審査会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 江北公園の一部及び荒川鹿浜橋緑地の一部（都市農業公園、鹿浜二丁目44番1号）</p> <p>(1) 主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 公園施設、園内植物及び田畑ほかの管理運営 イ 自然啓発等の事業（自主事業を含む）の企画及び実施 ウ 会議室・駐車場の利用・貸出等管理業務 エ レストハウスの運営 等 <p>(2) 指定管理者 体験型有機農業パークマネジメント 代表企業 株式会社自然教育研究センター 代表取締役 税所 功一</p> <p>(3) 指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日</p> <p>(4) 指定管理料（決算額） 令和4年度 160,304,693円（税込）</p> <p>(5) 評価対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日（1年目）</p> <p>(6) 評価委員会開催日 令和5年8月3日（木）</p>

(7) 評価委員会委員構成 (計6名)

種 別	氏 名	役 職 等
学識経験者 (有識者含む)	小林 久美 【委員長】	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科教授
	森長 真一	帝京科学大学生命環境学部 自然環境学科准教授
区 民	佐久間 修一	子育てパパサークル あだっちパパ代表
	野辺 陽子	鹿浜古内町会
区 職 員	宇佐美 慶太	産業振興課農業振興係長
	澤田 好	子ども施設運営課 就学前教育担当係長

(8) 評価方法

- ア 指定管理者による自己評価
- イ 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価
- ウ 評価委員会による評価

<提出資料>

- (ア) 事業報告書
- (イ) 利用者満足度調査報告書
- (ウ) 労働条件チェックシート
- (エ) 収支報告書
- (オ) 提案書
- (カ) 業務従事者一覧

(9) 評価結果

令和3年度		令和4年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
53点/65点	A-	52点/65点	A-

(評価項目及び評価基準は、別紙1参照 P16～18)

(10) 評価委員会での主な意見と回答

【意見】

プログラムのオンライン申込を導入しているようだが、申込状況はどのようになっているか。

【回答】

令和3年度よりオンライン申込を開始したが、従来の往復はがきから申込数は数倍に増えた。気軽に申し込める代わりに、当日キャンセルの増加や、参加費徴収方法など課題もある。

【意見】

物理的に施設間に距離があり、事業も施設ごとに動いている。上手く結び付けられないか。

【回答】

大型イベント時は、施設単独でない合同ブースを設けたり、コラボプログラムを実施している。物理的な距離については、改善策を区と協議していく。

(11) 評価結果の公表

区ホームページに令和5年11月上旬に掲載予定。

(12) 問題点、今後の方針

今回の業務評価結果を踏まえ、すでに指定管理者には改善に向けた具体的な対応を求めており、引き続き業務が確実に履行されるよう指導する。

2 元渚江公園・生物園（保木間二丁目17番1号）

(1) 主な業務内容

- ア 元渚江公園の維持管理及び管理運営業務
- イ 生物園の維持管理業務
- ウ 生物園の管理運営業務
- エ 自主事業の企画・実施 等

(2) 指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

代表企業 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一

(3) 指定管理期間

平成31年4月1日～令和6年3月31日

(4) 指定管理料（決算額）

令和4年度 262,285,201円（税込）

(5) 評価対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日（4年目）

(6) 評価委員会開催日

令和5年8月7日（月）

(7) 評価委員会委員構成 (計6名)

種 別	氏 名	役 職 等
学識経験者 (有識者含む)	鈴木 哲也 【委員長】	東京未来大学こども心理学部 こども心理学科教授
	加賀谷 玲夢	帝京科学大学生命環境学部 アニマルサイエンス学科講師
区 民	三浦 りさ	NPO法人子育てパレット 代表理事
	中山 貴子	環境マイスター
区 職 員	田口 純子	地域調整課 竹の塚区民事務所担当係長
	今 茂	子どもの貧困対策・若年者支 援課子どもの貧困対策係長

(8) 評価方法

ア 指定管理者による自己評価

イ 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価

ウ 評価委員会による評価

<提出資料>

(ア) 事業報告書

(イ) 利用者満足度調査報告書

(ウ) 労働条件チェックシート

(エ) 収支報告書

(オ) 提案書

(カ) 業務従事者一覧

(9) 評価結果

令和3年度		令和4年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
56点/70点	A-	59点/70点	A

(評価項目及び評価基準は、別紙2参照 P19～21)

(10) 評価委員会での主な意見と回答

【意見】

ぼうけんあそびの参加者の年齢層は。

【回答】

対象は未就学児(保護者同伴)から中学生までだが、中学生はほとんど来ない。小学3、4年生が中心。

【意見】

障がい者雇用1名とあるが、どのような業務を担当しているのか。

【回答】

臨機応変な対応が求められる業務は難しいが、道具の洗浄や動物の給餌など、定型的な作業を行っている。

(11) 評価結果の公表

区ホームページに令和5年11月上旬に掲載予定。

(12) 問題点、今後の方針

今回の業務評価結果を踏まえ、すでに指定管理者には改善に向けた具体的な対応を求めており、引き続き業務が確実に履行されるよう指導する。

3 花畑公園・桜花亭（花畑四丁目40番1号）

(1) 主な業務内容

- ア 花畑公園（広場）の維持管理業務
- イ 桜花亭・日本庭園の維持管理業務
- ウ 桜花亭施設の利用・貸出等管理業務
- エ 文化・啓発事業（自主事業）の企画及び実施
- オ 桜花亭内喫茶コーナーの運営業務 等

(2) 指定管理者

足立桜花亭グループ

代表企業 株式会社松竹園

代表取締役 寶谷 泰史

(3) 指定管理期間

平成30年4月1日～令和5年3月31日

(4) 指定管理料（決算額）

令和4年度 60,481,013円（税込）

(5) 評価対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日（5年目）

(6) 評価委員会開催日

令和5年7月24日（月）

(7) 評価委員会委員構成 (計6名)

種 別	氏 名	役 職 等
学識経験者 (有識者含む)	石坂 督規 【委員長】	埼玉大学 基盤教育研究センター教授
	小沼 康子	(一社)日本庭園協会常務理事
区 民	高橋 和彦	まちづくり推進委員
	杉山 華芳	足立区華道茶道協会
区 職 員	大久保 慎也	中央図書館長
	舟橋 左斗子	シティプロモーション課 プロモーション係

(8) 評価方法

- ア 指定管理者による自己評価
- イ 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価
- ウ 評価委員会による評価

<提出資料>

- (ア) 事業報告書
- (イ) 利用者満足度調査報告書
- (ウ) 労働条件チェックシート
- (エ) 収支報告書
- (オ) 提案書
- (カ) 業務従事者一覧

(9) 評価結果

令和3年度		令和4年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
54点/65点	A	54点/65点	A

(評価項目及び評価基準は、別紙3参照 P22～24)

(10) 評価委員会での主な意見と回答

【意見】

カフェの売り上げが好調であったが、成功のポイントは何か。

【回答】

以前の評価委員会での提言を受け、多世代の利用増加方法を考えた。親子向けのメニューを取り入れ、お孫さん連れ・若いお母さん同士での利用が増加した。同時に年配の人向けのメニューも取り入れた。これらのメニュー開発の結果が、売上増加の理由だと感じる。

	<p>【意見】 講座については、コロナの影響で数字的に厳しいが、内容は充実しているように感じる。</p> <p>【回答】 再開を待ち望んでいたといった反応が多かった。また、講座に飽きないよう講師と相談し、当日参加型から連続講座に変更した結果、参加率が上がった。</p> <p>(11) 評価結果の公表 区ホームページに令和5年11月上旬に掲載予定。</p> <p>(12) 問題点、今後の方針 今回の業務評価結果を踏まえ、業務が確実に履行されるよう、新規の指定管理者に指導していく。</p>
--	---

令和5年度 江北公園の一部及び荒川鹿浜橋緑地の一部(都市農業公園) 業務評価シート
 【評価対象年度】令和4年度 【自己評価】令和5年5月4日 【評価委員会】令和5年8月3日
 【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

別紙1

大項目	中項目	確認項目	評価点			
1	管理状況	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)	
		1 適正な施設運営 ◆開園状況、開園・閉園時の体制、窓口対応 など	4	4	4.0 (満点=5点)	
		2 施設・設備の保守点検 ◆設備管理：空調設備(年4回)、遊具(月1回) など	4	4		
		3 施設の清掃・維持管理 ◆日常清掃(毎日)・定期清掃(年6回)、古民家燻蒸(年3回) など	4	4		
		4 人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ◆適切な人員配置(施設運営に必要な人員の適正な配置 など)	4	4		
		5 人材育成の取り組み(専門性向上、待遇向上) ◆定期的な業務実施手順の見直し、研修の実施、業績悪化防止 など	4	4		
			20	20	計	
		4.0	4.0	平均		
	管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			1 施設・設備の安全性の確保 ◆利用者の安全を考慮した日常的な自主点検 など	4	4	3.8 (満点=5点)
			2 防災への配慮 ◆防火管理者の配置、防火管理計画・危機管理マニュアルの策定、防災訓練(年2回)の実施など	4	4	
			3 防犯への配慮 ◆施錠の徹底、巡回の実施 など	3	3	
			4 事故への対応 ◆緊急連絡網の作成、事故対応マニュアルの策定 など	4	4	
			15	15	計	
		3.7	3.7	平均		
1	管理状況	C 個人情報保護等は遵守されているか (※倫理性も含む)	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)	
			1 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施、個人情報事故への対応 など	4	4	3.6 (満点=5点)
			2 各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか など	4	3	
		8	7	計		
		4.0	3.5	平均		
	管理状況	D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			1 収支状況(安定的な運営) ◆収入の状況：令和4年度収入額目標値 (43,767,000円) ※区からの指定管理料を除く 実績 46,413,694円 (目標+2,646,694円) ◆令和4年度収支差額 (3,772,121円) (令和3年度収支差額 2,510,261円)	4	4	3.7 (満点=5点)
2 現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆経理の明確な区分、関係書類の整備 など			3	3		
3 経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 など			4	4		
		11	11	計		
	3.6	3.6	平均			

大項目	中項目	確認項目	評価点		
1	管理状況	E 効率的な施設管理を行っているか。	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			4	4	4.2
			5	4	(満点=5点)
			9	8	計
			4.5	4.0	平均
2	事業効果	A 協定や事業計画に沿ったサービスが提供されているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			5	4	4.1 (満点=5点)
			4	4	
			3	4	
			5	4	
			5	4	
			22	20	計
4.4	4.0	平均			
2	事業効果	B 花、自然、農文化といった公園の魅力素材として活かした公園運営を行っているか (係数×2)	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			10	8	8.4 (満点=10点)
			8	8	
			10	8	
28	24	計			
9.3	8.0	平均			
2	事業効果	C 地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			5	4	4.2 (満点=5点)
			5	5	
			5	4	
15	13	計			
5.0	4.3	平均			

大項目		中項目	確認項目	評価点		
2	D	利用の状況	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			1 入園者数 ◆年間入園者数(目標:395,000人)、前年度からの伸び率 など 令和4年度入園者数:339,986人 (令和3年度入園者数:372,395人) 前年度-32,409人	3	3	3.7 (満点=5点)
			2 イベントやプログラムの参加者数 ◆プログラム参加者数(目標:5年間で19,000人、年平均3,800人程度)、イベント参加者数、前年度からの伸び率など 令和4年度プログラム参加者数:12,248人 (令和3年度プログラム参加者数:8,646人) 前年度+3,602人	4	4	
			3 会議室・駐車場の利用状況 ◆稼働率、前年度からの伸び率 など 令和4年度会議室利用件数:268件 (令和3年度会議室利用件数:209件) 前年度+59件 令和4年度駐車場収入 7,486,100円 (令和3年度駐車場収入(公金)5,182,700円)	3	3	
			4 レストハウスの利用状況 ◆レストハウスの利用者数、売上げ(目標:24,500,000円)、メニューの充実、前年度からの伸び率など 令和4年度レストハウス売上:26,875,511円 (令和3年度レストハウス売上:25,408,705円) 前年度+1,466,806円	5	5	
		15	15	計		
		3.7	3.7	平均		
	E	アンケート利用者の満足度(アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか (係数×3)	指定管理者	担当課	評価委員会※ (小数点第2位を切捨て)
			1 来園者・イベント参加者の満足度 ◆来園者アンケートの結果、イベント・プログラム参加者アンケートの結果 など	12	12	12.3 (満点=15点)
			2 多様な来園者への対応 ◆障がいのある方、持病のある方、性的マイノリティの方などへの配慮 など	12	12	
3 意見・要望対応 ◆意見・要望等への対応の適切さ など			15	12		
			39	36	計	
	13.0	12.0	平均			
合計点 (満点=65点)				55.2	50.8	52.0
評価				A	A-	A-

【評価委員会評価結果】

指定管理者			区担当課		
得点	得点率	評価	得点	得点率	評価
55	84%	A	50	76%	A-

評価委員会			⇒	ランクダウン	⇒	総合評価
得点	得点率	評価				
52	80%	A-		無		A-

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			~			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
65	39	59点以上	54点以上 58点以下	49点以上 53点以下	44点以上 48点以下	39点以上 43点以下	36点以上 38点以下	35点以下
得点率		90%以上	~	83%以下	67%以上	~	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。

令和5年度 元洲江公園・生物園 業務評価シート

【評価対象年度】令和4年度 【自己評価】令和5年5月8日 【評価委員会】令和5年8月7日

【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

別紙2

大項目	中項目	確認項目					
		評価点					
		指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て			
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか（協定事項）					
		1	開園と入園料金の設定 ◆計画どおりの開園、料金設定がされているか	3	4	4.3 (満点=5点)	
		2	施設・設備の保守点検（内容、回数等） ◆設備管理：エレベータ（月1回）、自動ドア（年2回）、遊具（月1回）など	4	4		
		3	施設の清掃・維持管理 ◆公園清掃（便所含む）、建物床清掃（毎日）など	5	4		
		4	計画的な植栽管理 ◆植栽の管理：除草・草刈作業、樹木維持管理、草花の植え付けなど	5	4		
		5	人員配置（配置数、配置箇所、専門性等） ◆適切な人員配置（施設運営に必要な専門資格および経験を有した人員の配置など）	5	5		
	6	人材育成の取り組み（専門性向上、接遇向上） ◆定期的な業務実施手順の見直し、必要な教育訓練の実施など	5	4			
			27	25	計		
			4.5	4.1	平均		
	管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか（協定事項）				
7			施設・設備の安全性の確保 ◆日常的な自主点検による設備の安全点検（通年）などの実施体制	4	4	4.0 (満点=5点)	
8			防災への配慮 ◆防災訓練（年2回） ◆防火管理者を配置し防火管理計画を策定している	5	4		
9			防犯への配慮 ◆生物園内を巡回し、異常等の有無を業務日誌に記録している ◆全職員に鍵管理マニュアルによる鍵の管理方法が明確にされている	3	4		
10			事故への対応 ◆緊急連絡網が作成されている ◆事故対応マニュアルが策定され、全職員に周知されている	5	4		
			17	16	計		
		4.2	4.0	平均			
管理状況	法令等の遵守（※倫理性も含む）	個人情報保護等は遵守されているか（協定事項）					
		必須11	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定 ◆研修の実施	5	4	4.2 (満点=5点)	
		12	個人情報事故への対応 ◆個人情報の漏洩や個人データの紛失事故等が発生しなかったか	5	4		
		13	公契約条例の遵守（条例適用施設は必須） ◆台帳の整備がされているか	4	4		
		必須14	各種法令等の遵守 ◆研修の実施	4	4		
			18	16	計		
			4.5	4.0	平均		
	管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか（協定事項）				
			15	収支状況（安定的な運営） ◆収入の状況：令和4年度実績（326,089千円） ※令和4年度収入額の予算額（308,131千円） ◆支出の状況：令和4年度実績（314,559千円） ※令和4年度支出額の予算額（308,124千円） ◆令和3年度実績：収入（248,088千円） 支出（238,358千円） ※令和3年度実績は、区が支出する光熱水費、維持補修・小破修繕費を除く	5	5	4.3 (満点=5点)
			16	現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆経理の明確な区分 ◆帳簿、関係書類の整備、保存、これらによる経理状況の明確化	5	4	
17			経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置	4	4		
18			経費削減の取り組み ◆剪定枝のチップ化、落ち葉の堆肥化など ◆施設の長寿命化への体制、きめ細かな補修の実施 ◆光熱水費の削減体制	4	4		
		18	17	計			
		4.5	4.2	平均			

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果	生き物の飼育	計画どおりの飼育を行っているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て		
		19 蝶の飼育の技術・実績 ◆放蝶：年50種、8,000頭以上 ◆温室・食草温室の維持管理	5	5	5.0 (満点 =5点)		
		20 ホタルの飼育の技術・実績 ◆ホタルの夕べ、冬のホタル観賞会など	5	5			
		21 蝶・ホタル以外の昆虫飼育の技術・実績 ◆水生昆虫類、バッタ類、陸生甲虫類など	5	5			
		22 魚類・両生類・爬虫類・哺乳類・鳥類の飼育の技術・実績 ◆魚類、両生類、爬虫類、哺乳類、鳥類など	5	5			
		23 希少生物の飼育・繁殖の取り組み ◆ツシマウラボシジミの域外保全 ◆飼育・繁殖技術の向上など	5	5			
			25	25	計		
			5.0	5.0	平均		
		解説・展示・情報発信	計画どおりの解説業務や展示・情報発信を行っているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て	
				24 解説・プログラムの工夫 ◆インタープリテーションの活用 ◆社会的弱者へ向けた柔軟なプログラム対応	5	5	4.7 (満点 =5点)
25 展示・デザインの工夫 ◆誰もが見やすいパネルデザインの作成など ◆五感を刺激する展示 ◆ビクトサインによる園内表示	5			4			
26 区内・外への情報発信力 ◆ホームページやSNSの活用 ◆興味を持たせるポスター・ニュースレターなど ◆ニュースリリース	5			5			
	15			14	計		
	5.0			4.6	平均		
事業効果	外遊びプログラム	計画どおりの活動内容となっているか (係数×2)	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て		
		27 子どもの居場所づくりへの貢献 ◆実施回数・参加者数・リピート率	8	8	7.3 (満点 =10点)		
		28 スタッフの育成 ◆プレーリーダーの育成、公園あそびボランティアの設立への年次目標と進捗状況	8	8			
		29 プレーパークの効果 ◆自分の責任で自由に遊べる場になっているか ◆効果測定方法の確立への年次目標と進捗状況	6	6			
			22	22	計		
			7.3	7.3	平均		
		事業効果	事業の取組	計画どおりのサービスが提供されているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
				30 サービス向上に向けた取り組み ◆利用時間の延長など	5	4	4.2 (満点 =5点)
				31 事業の企画、実施、成果（プログラム） ◆プログラムの実施 （特別イベント 4回、ふれあいプログラム49,569人、導入型プログラム参加率 114%、発展型プログラム参加者率 357%、出張授業 6回） ※目標回数 （特別イベント 4回、ふれあいプログラム 総入園者数、導入型プログラム参加率 100%、発展型プログラム応募率 120%、出張授業 6回）	4	4	
				32 事業の企画、実施、成果（展示） ◆展示の実施 企画展 15回（計画14回）特別展 6回（計画6回）	4	4	
33 公園の活用 ◆さくらフェスタ、わんフェス等の公園を活用した事業 ◆その他、公園を活用したサービスが提供できたか	4			4			
	17			16	計		
	4.2	4.0	平均				
事業効果	地域連携・地域貢献	地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか	指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て		
		34 区内事業者等との連携 ◆区施設や他の指定管理者との連携及び成果 ◆地元民間企業や商店、商業施設との連携及び成果	5	5	4.6 (満点 =5点)		
		35 教育機関との連携 ◆区内大学との連携及び成果	4	4			
		36 区外施設等との連携 ◆全国昆虫施設連絡協議会・日本動物園水族館協会との連携及び成果	5	4			
		37 地域との連携 ◆お土産研究会の活動成果 ◆教育利用研究会の活動成果 ◆地域連携研究会の活動成果	4	5			
			18	18	計		
	4.5	4.5	平均				

大項目/中項目		確認項目			評価点		
事業効果	利用の状況	計画どおりの利用状況となっているか			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		38	総来園者数（環境の変化など外部要因を考慮） ◆総来園者数 (210,173人) ※来園者数の目標値 (218,000人) ◆令和3年度の年間利用者数 (112,459人) ◆前年度からの伸び率など	4	4	4.5 (満点=5点)	
		39	ミュージアムショップの運営 ◆売上実績 (27,376千円) ※売上額の目標値 (16,000千円) ◆販売品目の充実 ◆利用者数、購入者数	5	5		
				9	9	計	
				4.5	4.5	平均	
事業効果	利用の満足度（アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか（協定事項） （係数×3）			指定管理者	担当課	評価委員会 小数点第2位を 切捨て
		40	来園者対応 ◆年間対応率：155.9% (327,822人) ※目標対応率200% （対応率とは入園者数に対する対応者数（情報提供や問合せ、展示解説、プログラム等に対応した人数）の割合を示す。）	12	12	12.3 (満点=15点)	
		41	公園利用者、来園者・イベント参加者の満足度 ◆アンケート調査の結果 ※イベントの満足度：4.73点【満点5.0点】 ※公園利用者の満足度：3.59点【満点4.0点】	12	12		
		42	意見・要望対応 ◆意見・要望等の対応の適切さ ※意見・要望総数 24件中、解決数 24件、検討中 0件 ◆新規事業の取り組み ◆公園利用者アンケートへの対応実績	15	12		
				39	36	計	
		13.0	12.0	平均			
合計点（満点＝70点）				61.2	58.2	59.4	
評価				A	A-	A	

【評価委員会評価結果】

指定管理者			区担当課		
得点	得点率	評価	得点	得点率	評価
61	87%	A	58	82%	A-

評価委員会			⇒	ランクダウン	⇒	総合評価
得点	得点率	評価				
59	84%	A		無		A

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
70	42	63点以上	59点以上	53点以上	47点以上	42点以上	38点以上	37点以下
			62点以下	58点以下	52点以下	46点以下	41点以下	
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とす。

令和5年度 花畑公園・桜花亭 業務評価シート

【評価対象年度】令和4年度 【自己評価】令和5年5月8日 【評価委員会】令和5年7月24日

【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

別紙3

大項目	中項目	確認項目	評価点				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか（協定事項）	指定管理者	担当課	評価委員会		
		1 開園と料金の設定 ◆計画どおりの開園、料金の設定がされているか	4	4	3.8 (満点=5点)		
		2 施設・設備の保守点検（内容、回数等） ◆設備管理：エレベータ（月1回）、空調等設備（年2回）、遊具点検（月1回以上）など	4	4			
		3 施設内外の清掃・維持管理 ◆日常清掃（毎日）・定期清掃（年6回）、特別清掃（年2回）など	4	4			
		4 管理運営体制（委員会・会議等） ◆適切な施設運営のための委員会・会議等の開催：運営委員会（月1回）、サービス向上会議（月1回）など	4	4			
		5 人員配置（配置数、配置箇所、専門性等） ◆適切な人員配置（必要な専門資格および経験を有した人員の配置など）：防火・防災管理責任者、造園技能士など	4	4			
		6 人材育成の取り組み（専門性向上、接遇向上） ◆定期的な業務手順の見直し、研修の実施、業績悪化防止など	4	4			
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか（協定事項）	指定管理者	担当課		評価委員会	
		7 施設・設備の安全性の確保 ◆利用者の安全を考慮した日常的な自主点検の実施	5	4	4.2 (満点=5点)		
		8 防災への配慮 ◆防火管理者を配置し、防火管理計画を策定 ◆危機管理マニュアルの策定、職員周知 ◆防災訓練（年2回）など	4	4			
		9 防犯への配慮 ◆施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌に記録 ◆施錠の徹底。鍵管理マニュアルによる鍵の管理方法を、職員に周知	5	4			
		10 事故への対応 ◆安全管理マニュアル等の策定、職員周知 ◆ヒヤリハット事例の共有データベース化と更新、職員周知	4	5			
		法令等の遵守（※倫理性も含む）	個人情報保護等は遵守されているか（協定事項）	指定管理者		担当課	評価委員会
			必須11 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定 ◆情報の共有、研修の実施	5		4	4.3 (満点=5点)
12 個人情報事故への対応 ◆個人情報の漏洩や個人データの紛失事故等が発生しなかったか	5		5				
13 公契約条例の遵守（条例適用施設は必須） ◆台帳の整備がされているか	5		4				
必須14 各種法令等の遵守 ◆研修の実施	4		4				
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか（協定事項）	指定管理者	担当課	評価委員会			
	15 収支状況（安定的な運営） ※区が支出する光熱水費、維持補修・小破修繕費を除く ◆収入の状況：令和4年度実績（ 61,728千円） ※令和3年度収入額の目標値（ 57,905千円） ◆支出の状況：令和3年度実績（ 61,377千円） ※令和3年度支出額の目標値（ 57,905千円） ◆令和3年度実績：収入（ 57,699 千円） 支出（ 57,609 千円）	5	4	4.6 (満点=5点)			
	16 現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆経理の明確な区分 ◆帳簿、関係書類の整備、保存、これらによる経理状況の明確化	5	4				
	17 経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置	5	5				

大項目	中項目	確認項目				
管理状況	景観や安全の確保	きめ細やかな池や樹木等の維持管理等を行い、日本庭園や自由広場の景観や安全を確保しているか (係数×2)		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会
		18	計画的な樹木等の管理と保全 ◆年間計画による樹木等維持管理（樹木の剪定・伐採計画など） ◆樹木管理等作業内容の記録と確認（前中後の状況を写真等で記録など）	8	8	8.1 (満点=10点)
		19	安全・安心な自由広場の確保 ◆日常巡回・点検の実施（ごみ拾い・落ち葉清掃・安全点検など） ◆四季を感じさせる場の提供 ◆安全・安心な「じゃぶじゃぶ池」の管理運営など	8	8	
		20	美しい庭園景観と安全の確保 ◆日常巡回・点検の実施（ごみ拾い・落ち葉清掃・安全点検など） ◆お庭番による「魅せる維持管理」 ◆長期的な視点にたった維持管理（庭園の景観構成・バランスの保全など）	8	8	
	21	水質保全と景観を両立した池、堀の管理 ◆ろ過機、滅菌機等の巡回点検 ◆植物等による水質浄化と景観の確保	8	8		
	効率的な施設管理	効率的な施設管理を行っているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会
		22	管理業務の効率化 ◆本施設の多岐にわたる業務のマニュアルを整備。スタッフの育成に活用 ◆施設利用に関するチェックリストを作成。案内や利用後の確認・点検に活用	4	5	4.3 (満点=5点)
23		環境への配慮による効率管理 ◆剪定枝等のチップ化、マルチング材としての活用によるゴミの削減 ◆エコな光熱水費の運用（照明やエアコン等のこまめな調整など）	4	4		
24	グループ各社の専門性を活かした管理 ◆樹木等の維持管理をグループ各社の直営作業で実施し、経費を削減 ◆軽微な修繕等をグループ各社の直営作業で実施し、経費を削減	5	4			
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会
		25	サービス向上に向けた取り組み ◆社会的弱者に対する配慮（ユニバーサルサービスの提供など） ◆利用者ニーズの把握によるサービスへの反映	4	4	4.1 (満点=5点)
		26	利用促進への取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ・SNSの充実、チラシ・ポスター等の作成 ◆情報誌等への掲載	5	3	
		27	事業の企画・実施・成果 ◆自主事業の実施及び成果	5	4	
28	喫茶コーナーの運営 ◆利用者数：14,183人（来園者の約15.7%）（※令和3年度：12,929人） ◆ギャラリーの運営（展示実施回数7回）（※令和3年度：5回）	5	5			
地域連携・地域貢献	地域特性に配慮し、他団体等と連携した取り組みを行っているか			評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会
		29	区内施設や各種学校との連携 ◆区施設や他の指定管理者等との連携と成果 連携数4件（令和3年度：4件） ◆区内小中学校や高校、大学との連携と成果 連携数2件（令和3年度：0件）	4	5	4.1 (満点=5点)
		30	町会等、近隣住民やその他との連携 ◆町会等や商業施設ほかとの連携と成果 連携数1件（令和3年度：2件）	4	4	
31	区内の人材活用 ◆区内在住者等の人材活用（講師など）	5	4			

大項目		中項目		確認項目		
事業効果	利用の状況	計画どおりの利用状況となっているか (※花畑記念庭園・桜花亭部分)		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会
		32	総来園者数(環境の変化など外部要因を考慮) ◆年間来園者数(89,895人) ※来園者数の目標値(126,969人) 令和3年度の来園者数(80,920人) 指定管理5年目の目標(126,969人)	4	4	3.7 (満点=5点)
		33	施設利用者数 ◆施設利用者数(13,076人) ※利用者数の目標値(35,230人) 令和3年度の利用者数(7,872人) ◆前年度からの伸び率など	4	4	
	34	施設年間稼働率 ◆施設年間稼働率(24%) ※稼働率の目標値(41%) 令和3年度の稼働率(16%) 指定管理5年目の目標(41%)	4	4		
	利用者の満足度(アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか(協定事項) (係数×3)		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員会
		35	職員の接客対応 ◆職員の対応の良さ(親切さ、説明のわかりやすさ等)【満点5.0点】 対応の良さ:4.6点 ※令和3年度:4.8点	12	12	13.3 (満点=15点)
		36	施設に関すること ◆施設の清潔さ、緑の豊かさ、安全さ、便利さ等【満点5.0点】 清潔さ:4.7点 ※令和3年度:4.8点 緑の豊かさ:4.8点 ※令和3年度:4.8点 安全さ:4.6点 ※令和3年度:4.7点 便利さ:4.6点 ※令和3年度:4.6点	12	12	
	37	事業の企画内容等 ◆アンケート調査の結果【満点5.0点】 イベントの満足度:4.8点 ※令和3年度:4.7点	15	15		
38	意見・要望対応 ◆意見・要望等への対応の適切さ ※総数113件中、解決数111件、検討中ほか2件	15	12			
合計点				219 (満点=250点)	208 (満点=250点)	54.5 (満点=65点)

【評価委員会評価結果】

評価委員会			⇒	ランゲージ	⇒	総合評価
得点	得点率	評価				
54	83%	A		無		A

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
65	39	59点以上	54点以上 58点以下	49点以上 53点以下	44点以上 48点以下	39点以上 43点以下	36点以上 38点以下	35点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	足立区立公園条例施行規則の一部改正について
所管部課名	道路公園整備室パークイノベーション推進課
内容	<p>令和5年10月1日からインボイス制度が開始されることに伴い、足立区立公園条例施行規則を一部改正するため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 改正理由 有料施設のうち、使用料の納入によって1日券や乗り物券等の交付を受ける方に対して領収書は交付しないと定めているが、インボイス制度開始に伴い、領収書を交付する必要があるため。</p> <p>2 改正内容 施設使用前に意思表示があった方に対して、使用券等と引き換えに領収書（別紙中 別記第5号様式 P28参照）を交付する規定を追加する。</p> <p>3 新旧対照表 別紙参照 P26～28</p> <p>4 施行年月日 令和5年10月1日より施行</p>

改正前	改正後
<p>○足立区立公園条例施行規則 昭和47年4月24日規則第10号</p>	<p>○足立区立公園条例施行規則 昭和47年4月24日規則第10号</p>
<p>第1条から第6条の2 (省略)</p>	<p>第1条から第6条の2 (現行のとおり)</p>
<p>(有料施設の使用券等)</p>	<p>(有料施設の使用券等)</p>
<p>第6条の3 次の各号に掲げる有料施設を使用しようとする者は、条例第15条第1項の規定により使用料を納入し、第1号の施設にあつては1日券又は年間入園券、第2号及び第3号の施設にあつては乗り物券(以下「使用券等」と総称する。)の交付を受けるものとする。</p>	<p>第6条の3 次の各号に掲げる有料施設を使用しようとする者は、条例第15条第1項の規定により使用料又は利用料金を納入し、第1号の施設にあつては1日券又は年間入園券、第2号及び第3号の施設にあつては乗り物券(以下「使用券等」と総称する。)の交付を受けるものとする。</p>
<p>(1) 生物園(個人使用に限る。) (2) ミニ列車 (3) バッテリーカー</p>	<p>(1) 生物園(個人使用に限る。) (2) ミニ列車 (3) バッテリーカー</p>
<p>2 前項の使用券等の種類及び様式は、区長が別に定める。</p>	<p>2 前項の使用券等の種類及び様式は、区長が別に定める。</p>
<p>3 第1項の規定により納入された使用料については、領収書は交付しない。</p>	<p>3 第1項の規定により納入された使用料については、<u>当該有料施設を使用する前にその旨の申出があった者に対して、使用券等と引き換えに領収書(別記第5号様式)を交付することができる。</u></p>
<p>第6条の4から第21条 (省略)</p>	<p>第6条の4から第21条 (現行のとおり)</p>
<p>別表第1から第5 (省略)</p>	<p><u>付 則 (令和5年8月31日規則第77号)</u> <u>この規則は、令和5年10月1日から施行する。</u></p>
<p>別表第1から第5 (省略)</p>	<p>別表第1から第5 (現行のとおり)</p>
<p>別記第1号様式から第11号様式 (省略)</p>	<p>別記第1号様式から別記第4号様式 (現行のとおり)</p>

改正前	改正後
	<p data-bbox="1120 180 1585 213"><u>別記第 5 号様式 (第 6 条の 3 関係)</u></p> <p data-bbox="1120 272 1805 306">別記第 6 号様式から第 1 1 号様式 (現行のとおり)</p>

領収書

No. _____

年 月 日

様

金額(税込)					円
有料施設	対象	使用料	回数	金額(円)	
ミニ列車	小学生	30円			
	中学生以上	70円			
バッテリーカー	小学生	20円			
	中学生以上	20円			
合計					
10%対象税込計			消費税		

有料施設使用料として、左記の金額を領収いたしました。

領収印	
所在地：	
名 称：	
登録番号：	

領収書(副)

No. _____

年 月 日

様

金額(税込)					円
有料施設	対象	使用料	回数	金額(円)	
ミニ列車	小学生	30円			
	中学生以上	70円			
バッテリーカー	小学生	20円			
	中学生以上	20円			
合計					
10%対象税込計			消費税		

有料施設使用料として、左記の金額を領収いたしました。

領収印	
所在地：	
名 称：	
登録番号：	

領収書(控)

No. _____

年 月 日

様

金額(税込)					円
有料施設	対象	使用料	回数	金額(円)	
ミニ列車	小学生	30円			
	中学生以上	70円			
バッテリーカー	小学生	20円			
	中学生以上	20円			
合計					
10%対象税込計			消費税		

有料施設使用料として、左記の金額を領収いたしました。

領収印	
所在地：	
名 称：	
登録番号：	

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	竜井堀親水水路に関する工事説明会の開催結果について
所管部課名	都市建設部都市建設課 道路公園整備室道路整備課 パークイノベーション推進課
内容	<p>竜井堀親水水路に関する工事説明会を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 説明会開催の日時等</p> <p>(1) 開催日時 令和5年8月20日(日) 午前10時～午前11時10分</p> <p>(2) 開催場所 青井小学校 体育館</p> <p>2 参加者</p> <p>13名</p> <p>3 説明内容</p> <p>(1) 竜井堀親水水路の整備について (循環施設撤去、水路の維持、狭あい部の歩道拡幅)</p> <p>(2) 工事スケジュールについて (綾瀬新橋架け替えに影響させないよう2期に分けて施工)</p> <p>4 主な質疑</p> <p>Q1：歩道拡幅後の自転車の通行区分はどうなるか。 A1：自転車は車道通行になる。</p> <p>Q2：水路の生物に配慮してほしい。 A2：工事で水がなくなる時は、捕獲し青井みどり公園前に移すなどの対応を行う。</p> <p>Q3：綾瀬新橋の架け替えについての説明会を東京都に開催してほしい。 A3：東京都に伝える。</p> <p>Q4：青井みどり公園前水路は柵が設置されるか。 A4：柵を設ける場合、水路に親しむこと、安全性の両面をバランスよく検討する。</p> <p>5 問題点・今後の方針</p> <p>説明会でのご意見を踏まえながら、改修をおこなっていく。</p>

建設委員会報告資料

令和5年9月28日

件名	足立区関原の森関連施設の指定管理者業務評価結果について
所管部課名	建築室建築防災課
内容	<p>関原の森・愛恵まちづくり記念館及びまちづくり工房館（関原一丁目21番）の令和4年度指定管理者業務について、指定管理者選定等審査会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 主な業務内容</p> <p>（1）施設の利用・貸出等管理業務 （2）施設の維持管理業務 （3）自主事業の実施等</p> <p>2 指定管理者</p> <p>特定非営利活動法人あだち・まちづくり・コモンズ （代表者 理事長 中島 勝正）</p> <p>3 指定管理期間</p> <p>令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>4 指定管理料（決算額）</p> <p>令和4年度 31,320,021円（税込）</p> <p>5 評価対象期間</p> <p>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（3年目）</p> <p>6 評価委員会開催日</p> <p>令和5年7月28日（金）</p>

7 評価委員会委員構成（計6名）

種別	氏名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	平松 美恵子 【委員長】	不動産鑑定士
	千葉 一輝	元 麻布大学講師
区内のまちづくりに関する 団体の構成員	関寺 久夫	本木関原住区センター 管理運営委員会副委員長
	田中 光義	まちづくりカウンセラー
区職員	飯塚 尚美	多様性社会推進課長
	森田 路子	教育相談課長

8 評価方法

- (1) 指定管理者による自己評価
- (2) 担当課による日常点検、ヒアリング等に基づく評価
- (3) 評価委員会による評価

<提出資料>

- ア 基本協定書
- イ 年度協定書
- ウ 事業報告書
- エ 収支報告書
- オ 研修等実施報告書
- カ 自主事業実施報告書
- キ 労働条件チェックシート
- ク 業務従事者一覧表等

9 評価結果

令和3年度		令和4年度	
評価点	総合結果	評価点	総合結果
47点/65点	B+	49点/65点	A-

(評価項目及び評価基準は、別紙参照 P33～35)

10 評価委員会での主な意見と回答

【意見】

稼働率は微増するも感染拡大防止の制限が多く、努力しているがコロナ禍以前の水準には戻らない状況である。今後も自主事業やPR活動を工夫しながら、利用者数・稼働率の増加に努めてもらいたい。

【回答】

新たな連携や ICT などに関しても、今後検討し活用を図っていききたい。具体的には Instagram 等の活用や関原の森活用例などの情報を PR し、利用の促進を図っていく。

【意見】

新たな団体との事業協力や他団体との連携、大学や学生の参加によるまちづくり事業や連携等、実現には困難が多いと思われるが、人材の確保や実効性のある計画を考えてほしい。

【回答】

当団体の特性を活かした事業の実施やまちづくり活動の支援を行う施設として、まちづくりに関する事業の定例化とともに、新たな利用の促進方法を検討していききたい。大学連携等に関しても様々な検討を行っていく。

11 評価結果の公表

区ホームページに令和 5 年 1 1 月上旬に掲載予定。

12 問題点、今後の方針

今回の業務評価結果を踏まえ、すでに指定管理者には改善に向けた具体的な対応を求めており、引き続き業務が確実に履行されるよう指導する。

関原の森・愛恵まちづくり記念館及びまちづくり工房館所在地
(関原一丁目 2 1 番)



令和5年度 関原の森・愛恵まちづくり記念館及びまちづくり工房館 業務評価シート

【評価対象年度】令和4年度 【自己評価】令和5年6月30日 【評価委員会】令和5年7月28日

【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目	評 価 点		
			指定 管理者	担当課	評価 委員会
管 理 状 況	適切な 管理の 履行	①協定(基本協定、年度協定)や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
		1 開館と料金の設定 ◆計画どおりの開館、料金設定がされているか	4	4	3.9 (満点 = 5点)
		2 施設・設備の保守点検(内容、回数等) ◆設備管理計画及び実施状況 エレベーター(月1回)、空調設備(年3回)、自動ドア(年2回)、 ゲートシャワー(年2回)	4	4	
		3 施設の清掃(施設の清潔さ) ◆建物内(床・トイレ・ガラス・窓枠・照明器具等) ◆建物外(除草・落ち葉・ベンチ・噴水施設等)	4	4	
		4 人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ◆適切な人員配置：常駐施設管理者など	4	4	
	5 人材育成の取組み(専門性向上、接遇向上) ◆研修の計画、開催：接遇、維持管理、事故対応研修など ◆スタッフミーティング等における定期的な業務実施手順の見直し	4	3		
	安全 性の 確保	②施設の安全性は確保されているか			
		6 施設・設備の安全性の確保 ◆専門機関による消防用設備の保守点検(年2回)等の計画及び実施状況	4	4	4.0 (満点 = 5点)
		7 防災への配慮 ◆防火管理者を配置し、防火管理計画を策定している ◆防災訓練等の計画及び実施状況	4	4	
		8 防犯への配慮 ◆館内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌に記録している ◆全職員に鍵管理マニュアルによる鍵の管理方法等が明確にされている	4	4	
	9 事故への対応 ◆緊急連絡網が作成されている ◆適正な緊急時対応マニュアルが策定され、職員に周知されている	4	4		
効 率 的 な 施 設 管 理	③効率的な施設管理を行っているか				
	10 管理業務の効率化 ◆業務マニュアルの整備、専門知識のあるスタッフの活用	4	4	4.0	
	11 環境への配慮による効率管理 ◆FR(リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リペア、リファイン、リターン)による物品調達、ゴミの削減 ◆エコな光熱水費の運用(こまめな消灯、省エネ製品への更新)	4	4	(満点 = 5点)	

大項目	中項目	確認項目	評 価 点		
			指定 管理者	担当課	評価 委員会
管 理 状 況	法令等の遵守 (※倫理性も含む)	④個人情報保護、公契約条例等は遵守されているか			
		12 個人情報保護の取組み ◆内部規定の策定、研修の計画、開催、外部主催の研修への参加 ：個人情報取り扱い研修など	3	3	3.4 (満点 = 5点)
		13 各種法令等の遵守 ◆研修の計画、開催、外部主催の研修への参加 ：コンプライアンス研修など	4	3	
		14 利用記録等各種情報の管理 ◆保管場所の施錠	4	4	
	15 個人情報事故への対応 ◆個人情報の漏洩や個人データの紛失事故等が発生しなかったか	4	4		
	適切な財務・財産管理	⑤適切な財務運営・財産管理が行われているか			
		16 収支状況(安定的な運営) ◆収入の状況：4年度実績(31,559.5千円) ◆支出の状況：4年度実績(29,386.66千円) ◆3年度収入(31,110千円)、支出(30,705千円)	4	4	4.4 (満点 = 5点)
		17 経理・現金に関する書類等の管理 経理処理 ◆経理の明確な区分 ◆帳簿、関係書類の整備、保存、これらによる経理状況の明確化	4	5	
18 経理を担当する職員 ◆経理責任者等の配置	5	5			
事 業 効 果	事業の取組	⑥事業計画どおりのサービスが提供されているか			
		19 サービス向上に向けた取組み ◆案内サインの充実 ◆社会的弱者に対する配慮があるか ◆トラブル等に対し、早急かつ誠実な対応ができていますか	4	3	3.1 (満点 = 5点)
	20 事業の企画、実施、成果 ◆自主事業の実施：自主事業計画書に沿って実施しているか ◆参加者のニーズの把握：利用者からの声を反映した事業の計画及び実施状況	3	3		
	施設へのイメージ	⑦施設のイメージアップについての取組みがされているか(係数×2)			
		21 利用促進への取組み ◆ホームページ、SNS等の充実：更新等随時行っているか ◆フリーWi-Fiの設置・管理	8	6	6.9 (満点 = 10点)
		22 施設PR事業の取組み ◆施設に愛着を感じられるイベントの企画・実施	8	6	
		23 子どもの居場所づくりへの貢献 ◆子ども関連事業の企画・実施	8	6	
	24 緑の再生による憩いの場づくり ◆地域住民や利用者のニーズを取り入れた計画か ◆植栽による景観の改善、樹木等の管理と保全	8	8		

大項目	中項目	確認項目				
事業効果	利用の状況	⑧事業計画どおりの利用状況となっているか		評価点		
				指定管理者 担当課 評価委員会		
	25	利用者数（環境の変化など外部要因を考慮） ◆利用者数について（元年度13,129人、2年度5,738人、3年度6,723人、4年度4,830人）	4	4	3.5 (満点=5点)	
	26	施設の稼働率 ◆関原の森・会議室・談話室の稼働率（元年度10.5%、2年度5.7%、3年度4.5%、4年度5.7%）	4	4		
	地域連携・地域貢献	⑨地域特性に配慮し、他団体等と連携した取組みを行っているか		評価点		
				指定管理者 担当課 評価委員会		
		27	本木関原住区センターとの連携 ◆連携した管理体制：事件・事故等に対する連携した危機管理体制が整っているか ◆連携した事業：連携した事業の計画及び実施状況	4	4	3.9 (満点=5点)
		28	町会・商店街等との連携 ◆連携した事業：連携した事業の計画及び実施状況	4	4	
	29	大学・NPO団体等との連携 ◆連携した事業：連携した事業の計画及び実施状況	4	4		
	30	施設周辺の人材活用 ◆施設周辺の人材活用を積極的に行っているか	4	4		
	（アンケート利用者の満足度による）	⑩利用者の満足を得られているか（係数×3）		評価点		
				指定管理者 担当課 評価委員会		
		31	職員の接客対応 ◆職員の親切さ、説明のわかりやすさ等	12	12	12 (満点=15点)
		32	事業の企画内容等 ◆企画内容の充実、企画の豊富さ、料金設定等	12	12	
33	施設に関すること ◆施設の清潔さ、使いやすさ、案内サイン等	12	12			
34	苦情・要望対応 ◆苦情・要望等の対応の適切さ	12	12			
		合計点（満点=65点）		51.5 49.4 49.1		
		評価		A- A- A-		

評価委員会		
得点	得点率	評価
49	75%	A-

⇒

ランクダウン
有・無

⇒

総合評価
A-

※評価結果は評価審査会が行う。

※悪質な事故等があった場合、

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

ワンランクダウン等を検討する。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
65	39	59点以上	54点以上	49点以上	44点以上	39点以上	36点以上	35点以下
			58点以下	53点以下	48点以下	43点以下	38点以下	
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする